

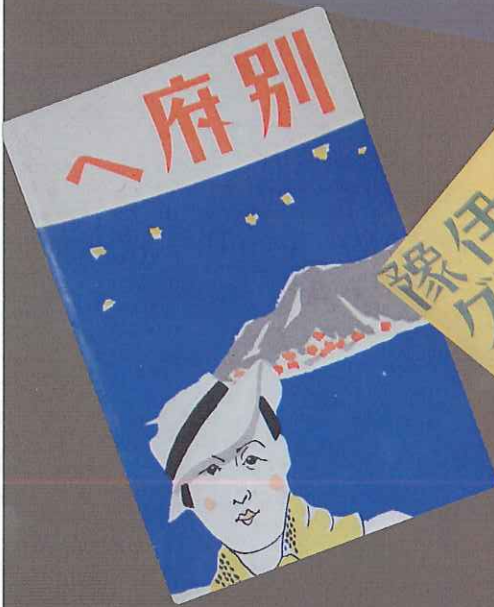
大阪商船航路案内にみるデザイン展

浪漫航路へのいざなひ

平成二十二年十一月十三日（土）～二十八日（日）



時空館
企画展示場前



大阪商船（現在の商船三井）は明治十七年（一八八四）年に創立し、国内営業を基盤に朝鮮半島や中国・台湾、さらには北米、欧州などの遠洋航路まで展開していきました。また、最も力を入れた南米航路では、優秀な客船を次々に投入しました。展示資料である大阪商船航路案内（リーフレット）は、昭和の初めに作成されたもので、レトロな味わいのあるデザインが多いです。当時、海運会社では、集客や集荷のための宣伝のひとつとして、斬新なデザインのポスターやリーフレットなどを次々に作成し、各社が競って乗客誘致に努めていました。しかし、太平洋戦争に突入すると、商船は陸海軍に徴用され、その大半を失うこととなります。今回の展示では、航路案内のデザインを通して、当時活躍していた商船を紹介致します。